



掲揚された日本国旗
(いきいき茨城ゆめ国体2019 総合開会式にて)

Column 市長コラム



国旗掲揚

市内小・中学校では9月に運動会が開催され、私もいくつかの学校の開会式に出席し、競技を見て回りました。

短期間の練習の中でも、良い成績や結果をおさめようと頑張る児童・生徒の意気込みが感じられました。子ども達のますますの成長を期待したいと思います。

運動会の開会式では、校長先生・PTA代表・生徒代表の挨拶、来賓祝辞などが行われます。そして、必ず国旗掲揚があります。

司会の児童や生徒による「皆様」起立のうえ、国旗の方をお向きください」とのアナウンスが流れ、会場にいる方が起立をして国歌を斉唱します。これは教育の一環です。

しかし、この会場でも、この呼びかけに答えず、起立せずに座っている方や写真を撮り続けている方がいます。些細なことではあります。子ども達の目にはどのように映るでしょうか。

これは私の考え過ぎでしょうか。

司会者の呼びかけに対して、特別な事情がある方以外は起立を
して対応することが、大人の態度ではないかと私は思います。

児童・生徒の模範となる大人になりましょう。

今月のピックアップ

花と緑のまちなみコンテストグランプリ決定

笠間市民憲章推進協議会、健康都市づくり実践活動委員会では、美しくゆめのあるまちづくり推進のため「花と緑のまちなみコンテスト」を行いました。個人・団体・企業部門から17作品の応募があり、個人部門では芦間てる子さん（小原）、団体・企業部門では香取会が、それぞれグランプリを受賞しました。

芦間さん「庭の手入れが大好きで、朝や夕に竹酢で虫の退治をしています。一年を通して季節の花が咲いた時には、写真を撮りアルバムにして楽しんでいきます。」

香取会代表 須藤勝雄さん「春にはチューリップが立派に咲き、今はマリーゴールド、アスターの花などが咲いています。夏は1日おきに水をかけたり、除草をしたり会員一丸となって頑張っています。」



団体・企業部門グランプリ
香取会の作品



個人部門グランプリ
芦間てる子さんの作品